

●休館日のお知らせ(全館)●
月曜日 10月4、11、18、25日、
11月1日
図書整理日 10月29日(金)
祝日の振替 10月12日(火)、
11月2日(火)

第5回 図書館まつり
日時/11月3日(水)~7日(日) 場所/石狩市民図書館
今年も内容盛りだくさんでお待ちしています。

◆本のテーマ特集◆
女の事件簿と純愛
日時/10月1日(金)~15日(金)
場所/本館特集コーナー
歴史に残る女性の事件と純愛に関する本を、ご紹介します。

古きよき時代
昭和30年から40年代
~に見る懐かしの日本~
日時/10月19日(火)~31日(日)
場所/本館特集コーナー
貧しくも力強く、また、人々の温かさを感じた時代がありました。物の豊かな今の時代だからこそ、古きよき時代の日本に触れてみませんか。

開館日のお知らせ
図書館まつり期間中の11月3日(水)、4日(木)は通常どおり開館します。

3日の行事	11:00~12:00 おはなしボランティア「びっくりばこ」おはなし会 ~「あったかいおはなし」 14:00~15:30 黒柳眞理講演会 「オリンピックに見た日本の素晴らしさ」 黒柳真里さん▶	
4日の行事	14:00~15:00 大人のための朗読会「こがね色の海」ほか (石狩朗読ボランティアの会) 16:00~16:30 図書館職員おはなし会	
5日の行事	10:30~、11:30~ 石狩市文庫連絡会おはなし会 ~「ママといっしょにおはなしきこうよ」 13:30~14:30 宮本武蔵を聴こう会によるビデオ上映会 ~「吉川英治『宮本武蔵』小説を旅する」	
6日の行事	10:00~15:00 としょかんクイズラリー(7日も開催) 10:00~15:00 伝承あそび おてだま(7日も開催) 10:00~17:00 布の絵本展示(7日も開催) 10:30~、11:30~ 北海道大学奇術研究会マジックショー 11:00~、12:00~ 石狩市文庫連絡会おはなし会 13:30~、14:30~ // 13:30~15:00 まえののりかず 前野紀一講演会「雪の謎を語る」(石狩市民図書館とあゆむ会) 16:00~17:00 かわべこうきち 河辺晃吉ケーナ演奏会	 ▲河辺晃吉さん
7日の行事	11:00~12:00 おはなしボランティア「びっくりばこ」おはなし会 ~「あったかいおはなし」 13:00~、13:50~ 人形劇団「ひよっこ」公演~「とりかえっこ」「三匹のこぶた」ほか 3日~7日を通して、閲覧室内では、小檜山博の文学を読む会、村山家文書を読む会による資料展示が行われます。	

行事のご案内

おはなし会	○本館おはなし会 10月2日・16日(土)15:00~15:30 場所/おはなしのたまご 出演/おはなしボランティア「びっくりばこ」 10月10日・24日(日)15:00~15:30 場所/おはなしのたまご 出演/本館職員 10月30日(土)13:30~ 場所/おはなしのたまご 出演/石狩市文庫連絡会 ○花川南分館おはなし会 10月9日(土)11:00~11:30 場所/花川南コミセン和室 出演/おはなしボランティア「びっくりばこ」 ○八幡分館おはなし会 10月23日(土)14:00~14:30 場所/八幡コミセン和室 出演/八幡分館職員
CDコンサート	10月9日(土)13:00~13:50 場所/視聴覚ホール 「流響 長須与佳 尺八、琵琶の世界」 10月23日(土)13:00~14:45 場所/視聴覚ホール 「チェリビダツケ/ミュンヘンフィル」※今回はDVD使用で映像があります。
ビデオ上映会	○子どもビデオ上映会 10月3日(日)14:00~15:00 場所/視聴覚ホール 「ありときりぎりす」ほか3話 ○ビデオ上映会 10月17日(日)14:00~14:50 場所/視聴覚ホール 「NHK 宇宙 未知への大紀行 第6集」
講座	石狩市文庫連絡会読み語り実践トレーニング講座 第2回「紙芝居」 10月8日(金)14:00~16:00 場所/研修室・2 ※受講希望の方は事前にお申し込みください(佐藤さん TEL/FAX 73-7936)。



歴史のドアを開けよう

Natural History
第59回

いしかり博物誌

■文化財課 ☎72-6123
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■石狩海浜植物保護センター ☎60-6107
ihama@city.ishikari.hokkaido.jp



▲三日月形の沼。もとは発寒川の一部でした。

石 狩市の南部を東西に流れている発寒川は、札幌市との境界線になっていきます。しかし地図をよく見ると、境界線はぐにやぐにやと曲がりくねって、川の流れとぴったり一致していません。なぜでしょうか。

緑 苑台地区で川沿いに歩いていくと、石狩市側に木が生い茂っている帯があります。近づいてみると、その木々に囲まれて沼があるのが分かります。よく見ると沼は川のように細長く三日月のような形で、両端は発寒川とぶつかるあたりで終わっています。この沼こそ、かつて発寒川の一部だったところなのです。河川改修で本流から切り離されてできた沼で、いわば「見捨てられた川」です。しかしそのおかげで、かつての自然環

境が今でも残されています。そこにはどんな動植物が見られるのか、今年の春、石狩自然誌研究会の皆さんと、簡単な調査をしました。まず、沼の周りを縁どるように、ヤナギやヤチダモなどが見られます。これらはどれも湿地や水辺に生える木で、川沿いの林「河畔林」だったことが分かります。また、岸からタモ網を使って水生生物を探ってみましたところ、イバラトミヨを発見しました。体長5cmくらいの魚で、発

見捨てられた川



▲イバラトミヨを発見！

※水辺は足場が悪く、周辺には深い排水溝がたくさんあります。危険ですので、一般の方は近寄らないでください。

（志賀健司）

境が今でも残されています。そこにはどんな動植物が見られるのか、今年の春、石狩自然誌研究会の皆さんと、簡単な調査をしました。まず、沼の周りを縁どるように、ヤナギやヤチダモなどが見られます。これらはどれも湿地や水辺に生える木で、川沿いの林「河畔林」だったことが分かります。また、岸からタモ網を使って水生生物を探ってみましたところ、イバラトミヨを発見しました。体長5cmくらいの魚で、発

市 内にはこのような小さな水辺はまだたくさんあります。いずれも、昔の姿を残していたり、いろいろな動植物の生息場所となっている、貴重な自然環境です。